

## 全農岩手県本部における加工・業務用野菜の生産販売の取り組みについて

全農岩手県本部

## 1. はじめに

- (1) 近年の野菜の消費動向は、共働きの増加などから「調理の簡便化」が進んでおり、それに伴い「カット野菜」「冷凍野菜」「惣菜用野菜」などのマーケットが拡大しています。中でも「冷凍野菜」はコロナ禍により需要が大きく拡大しています。
- (2) 現状、加工・業務用需要は野菜需要の約6割を占め、そのうち国産割合は約7割で家計消費と比べ低位にあり、実需者からは国産需要に対応できる産地の育成が求められています。
- (3) 一方、生産現場では「販売農家数の減少」と「高齢化」が同時進行しており、地域農業の担い手となる集落営農組織・法人等では園芸品目の導入・転換への関心は高いものの、労力不足がネックとなっており、機械化一貫体系での取組みが可能な園芸品目の導入が期待されています。
- (4) これらを踏まえて、産地・消費地の要望に応えるために、「マーケットイン」を基本とした加工・業務用野菜の産地化にむけた生産拡大の取組みをすすめています。

## 2. 令和3年度野菜取扱実績並びに加工・業務用野菜の販売実績について（令和3年度12月末）

品目名	令和3年12月末実績						前年同月比較			
	全県		(内、加工・業務用)		加工比率		全県		(内、加工・業務用)	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
キャベツ	19,609	1,518	2,459	151	12.5	9.9	93.7	69.3	116.3	109.4
レタス類	6,929	1,188	1,276	241	18.4	20.3	99.1	101.5	92.1	94.5
たまねぎ	515	34	389	25	75.5	73.5	109.3	113.3	104.6	119.0
トマト	4,404	1,183	301	17	6.8	1.4	106.2	91.4	73.6	77.3
ねぎ類	2,748	695	167	56	6.1	8.1	98.4	82.8	147.8	186.7
ブロッコリー	432	142	22	5	5.1	3.5	113.7	110.9	628.6	500.0
その他	26,807	8,385	1,320	181	4.9	2.2	101.6	83.7	59.4	69.3
野菜合計	61,444	13,145	5,934	676	9.7	5.1	99.0	83.9	89.7	92.9

その他はきゅうりや長芋、だいこんなど。

## 3. 生産拡大対策

- (1) 推進品目（夏秋寒玉キャベツ、夏秋レタス、加工トマト、秋ブロッコリー、夏秋ねぎ、たまねぎ）
  - ア. 地域別栽培特性と実需者ニーズに基づく品目選定と生産推進。
  - イ. 栽培実証・品種試験栽培に基づく、生産振興（秋ブロッコリー）。
- (2) 主たる作付け推進先
  - ア. 大型経営体・・・雇用型経営体の収益安定確保
  - イ. 営農組織・法人・・・水田転作機械化体系による栽培
- (3) 栽培技術確立対策
  - ア. 県との連携による生産技術情報の共有による反収向上
  - イ. 園芸産地改革ネットワーク「加工・業務用野菜部会」による課題解決検討および先進地研修
- (4) 拡大支援
 

全農いわて「園芸産地確立事業」にて、生産拡大にかかる費用の一部助成をおこないます。

詳しくは、お近くの J A 担当者にご相談ください。

#### 4. 販売対策

- (1) 令和 4 年度取扱目標：6,300 t
- (2) 実需者ニーズに基づく生産販売提案
- (3) 全農冷凍工場（令和 6 年度稼働予定）への品目供給
- (4) 既存生産品目の家計消費向けから加工業務向け販売への提案
- (5) 全農買取販売による生産者のリスク軽減対策

安定収益確保を担保するため、買取販売をすすめる。

※買取数量や単価、期間・出荷規格などを事前に設定します。